

◆◆◆教材の概要◆◆◆

第16代アメリカ合衆国大統領エイブラハム・リンカーンの人柄を題材にした教材である。

若いころ店で働いていたエイブは、売上金の額が合わないことに気付く。昼間、布地を購入した女性客に渡した釣り銭が6セント半少なかったのである。自分の失敗に気付いたエイブは、日本円にしてわずか6円ほどの釣り銭を、風の吹く寒い日の夜2時間もかけて届けに行く。女性客の家に着いておつりをわたしたエイブは、「それだけのことで…」と驚かれ、「正直エイブ」と褒められる。しかし、エイブは「すみませんでした。」と謝り、夜更けの道をまっすぐ帰っていく。

判断に迷いがなく、エイブの正直で誠実な人柄の表れた教材である。

◆◆◆教材の活用◆◆◆

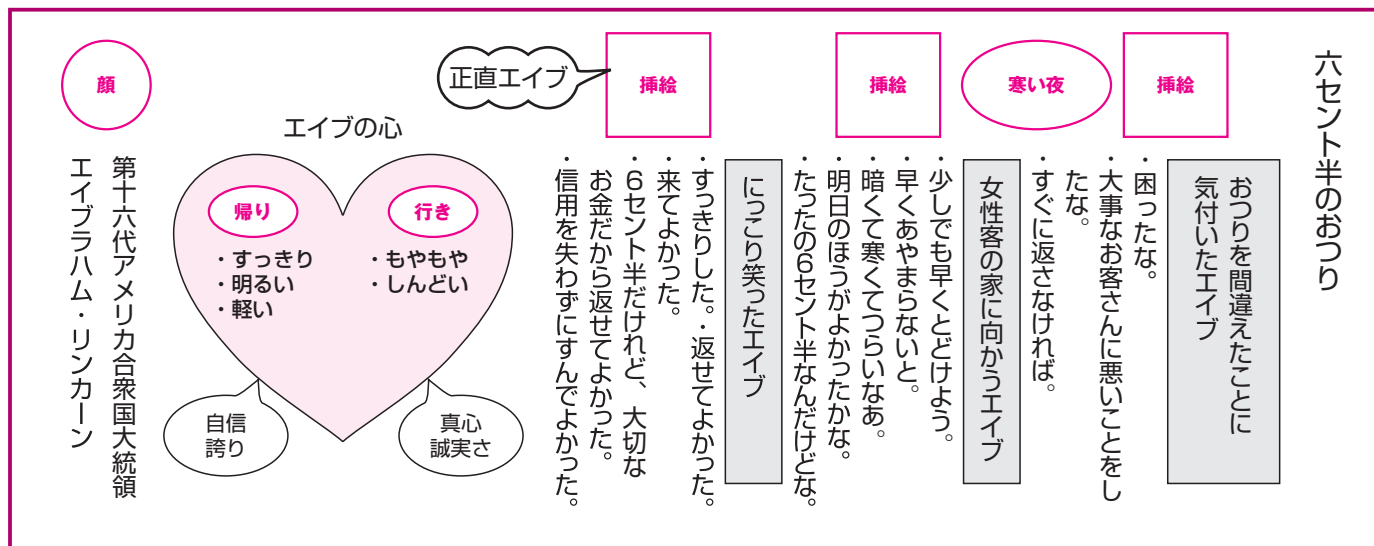
自分の過ちに気付く、すぐに伝えようとするエイブ。日本円にしてたった6円ほどのおつりのために寒い夜の道を2時間もかけて歩く。なぜ、今日のうちに返そうとしたのか。また、なぜ、女性客に褒められてもエイブは謝ったのか。これらの理由を考えることでエイブの生き方に共感させる。さらに、来た道と帰り道でのエイブの心の変容に迫ることを通して、ねらいとする価値を深めたい。うそやごまかしは相手だけでなく自分自身を偽ることになり、正直で誠実であることが快適に明るい心で生活することにつながることに気付かせたい。

迷いなく正直を貫くエイブが児童の憧れとなるであろう教材である。エイブのように正直で誠実に生きていこうとする心情を育てたい。

◆◆◆中心発問◆◆◆

6セント半を返してにっこり笑ったエイブは、どんなことを思っていたでしょう。

◆◆◆板書計画◆◆◆



◆◆◆道徳的価値“正直、誠実”について◆◆◆

児童が健康的で積極的に自分らしさを発揮できるようにするためには、自分の気持ちに偽りのないようにすることが求められる。また、自分の過ちを認め、改めていく素直さとともに、何事に対しても真心を込めて、明るく楽しい生活を心掛けようとする姿勢をもつことが大切である。過ちや失敗は誰にも起こり得ることである。そのときに、ともするとそのことで自分自身が責められたり、不利な立場に立たされたりすることを回避しようとしてうそを言ったり、ごまかしをしたりすることがある。しかし、そのような振る舞いはあくまでも一時しのぎに過ぎず、真の解決には至らない。このことによって、他者の信頼を失うばかりか、自分自身の中に、後悔や自責の念、強い良心の呵責などが生じる。それらを乗り越えようとするのが正直な心であり、自分自身に対する真面目さであり、伸び伸びと生きようとする心のすがすがしい明るさでもある。このような誠実な生き方を大切にする心を育てていくことが重要である。

◆◆◆学習指導案（本時のねらいと展開）◆◆◆

本時のねらい

エイブの考え方や行動を通して、過ちは素直に改め、正直で明るい心で生活しようとする道徳的心情をはぐくむ。

本時の展開

	学習活動	発問と予想される児童の反応	指導上の留意点
導入	・ 本時の学習に興味を持つ。	アメリカのお金を知っていますか。 ・ ドル セント	・ お金の実物、または写真を提示する。 ・ 短時間で学習に向かう姿勢をつくる。 ・ 1 セントが約 1 円であることを押さえる。
展開	・ 教材を読む ・ おつりの間違いに気付いたエイブの気持ちを考える。	おつりを間違えたことに気付いたエイブは、どんな気持ちだったでしょう。 ・ こまったな。 ・ 大事なお客さんに悪いことをしたな。 ・ すぐに返さなければ。 ・ 一晩、暗い気持ちが続くのはいやだ。 ・ すぐに返さないと気になるな。	・ 範読する。 ・ 売上金さえ調べれば、一日の仕事が終わることに触れる。 ・ 自分の失敗を反省し、すぐにおつりを届けに行こうとする気持ちを捉えさせる。
	・ 夜道を歩くエイブについて考える。	寒い夜に2時間もかけて女性客の家に向かうエイブは、どんなことを考えていたでしょう。 ・ 少しでも早く届けよう。 ・ 暗くて、寒くて、つらいなあ。 ・ やっぱり明日にしたほうがよかったなあ。 ・ 遠いなあ。まだ着かない…。 ・ たったの6 セント半なんだけどなあ。	・ 寒い夜であったこと、2 時間もかかること、たった6 セント半であることにもかわからず、夜道に行くエイブの心中を考える。 ・ 「ちょっとそこまで」の言葉から、誠実な人柄を押さえる。 ・ 一方で、冷たい風が体にしみてつらい気持ちになっていることにも触れる。
	・ おつりを返したエイブの気持ちを考える。	6 セント半を返してにっこり笑ったエイブは、どんなことを思っていたでしょう。 ・ すっきりした。 ・ 返せてよかった。 ・ 来てよかった。 ・ 6 セント半でも、大切なお金だから返せてよかった。 ・ 信用を失わずにすんでよかった。	・ 寒い夜にもかかわらず、なぜ、明日ではなく「今日のうちに」なのか、と切り返して、エイブの気持ちに迫る。 ・ “正直エイブ”と言われていることに着目させたい。 ・ おつりを届け謝ることは、エイブにとっては当たり前のことで、他者に対する気持ちにとどまらず、自分自身に対して正直である心のすがすがしさに触れる。 ・ 帰り道のすがすがしく晴れ晴れとした明るい心情に触れ、その基盤を成している価値“正直な心”に迫る。
終末	・ 今日の学習で感じたこと、考えたことを振り返る。	今日の学習で、どんなことを学びましたか。 ・ 正直でいると、気持ちがいい。 ・ 自分の間違いを素直に認める人はカッコいい。 ・ ごまかしたり、嘘をついたりすると、心は晴れない。	・ エイブの心はみんなの心の中にもあることを話し、“そっとした決意”を促したい。 ・ 単なる感想に終わらないように今後の自己を見つめさせる。

評価の視点（例）

- 素直に過ちを改め、正直に明るい心で生活しようとする発言をしたり、そのような気持ちを振り返りの場面でまとめたりしている。